令和4年6月28日

**第１６回 兵庫県高校生英語ディベートコンテスト実施要項**

*The 16th Hyogo Prefecture Senior High School English Debate Contest*

１　趣　旨： 英語ディベートは、英語を「聞く」「話す」「読む」「書く」という技能に加え、「論 理的思考力」も必要とする、総合的な英語コミュニケーション能力向上のために有効な 学習手段である。本英語部会は、この英語ディベートを本県の英語教育発展のための一 つの有効な手段ととらえ、「兵庫県高校生英語ディベートコンテスト」を開催する。本 コンテストが、生徒の英語力向上に資するのみならず、現代社会の様々な問題に対処す る力を身につける一助となることを期待する。

２　主　催： 兵庫県高等学校教育研究会英語部会　兵庫県高校生英語ディベートコンテスト委員会

３　後　援： 兵庫県教育委員会、神戸市教育委員会、甲南大学（予定）

４　協　賛： スコア型英語4技能検定 GTEC　(株式会社ベネッセコーポレーション）、

OUP（オックスフォード大学出版局）（予定）

５　日　時： 令和５年１月２９日（日）８:３０～１６:５０

６　会　場： 甲南大学（神戸市東灘区岡本８丁目９－１）

７　参加条件：(1)　県内の高等学校または高等専門学校の３年までに在学する生徒及び中等教育学校の 　　４年から６年に在学する生徒。

(2)　英語のネイティブ・スピーカーは不可。

(3)　以下の条件のいずれかに該当するものは各チームに登録は２名、試合への参加は１ 　　試合につき１名まで認める。

　(a)満５歳の誕生日以後に、英語圏(英語を公用語または公用語に準ずる言語として使用 　　する国・地域)で、通算12ヶ月以上滞在経験のある生徒。

　(b)日本国内、海外を問わず、6ヶ月以上、英語以外の教科に関して実態として英語に 　　よる授業を行っている学校（アメリカン・スクール、インターナショナル・スクー 　　ル、または授業科目の半分以上を英語で教育を行っている学校を含む）に在籍し、 　　その教育を受けたことのある者。

　(c)満５歳の誕生日以後に、保護者(両親)または同居親族に、英語を母語とする者、も 　　しくは英語圏出身の者がいる場合。

※本大会の公平性が疑われることのないよう、参加条件(3)については各校で十分に確認のうえ、 　厳守のこと。

８　チーム構成：１校１チームとし、試合出場者は１チーム３～４名とする。

　各チーム補欠を含め登録は６名までとする。

　※参加校は帯同審判２名（ALT等可、生徒引率兼任可）を派遣すること。

９　対戦方法： (1)予選を行ない、その結果をもとに決勝トーナメントを行う。

(2)予選では肯定側・否定側を各１対戦行い、決勝トーナメントでは「くじ」により肯

定側・否定側を決定する。

10　論　題： Resolved: That the Japanese Government should abolish the mandatory retirement age systems.

「日本政府は，定年制を廃止すべきである。是か非か。」

※付記事項、論題解説については、高英研ホームページを参照のこと。

11　表　彰： １位、２位、３位(２チーム)を入賞とし、賞状及びトロフィーまたは楯を授与する。

ベスト８に入ったチームには賞状を授与する。

12　ルール抜粋：　(1)立論においては、論点を２つ提示すること。

　　(2)兵庫県版ディベート審査用紙に基づき、「内容」「証拠」

　　「コミュニケーション」等の得点により勝敗を決定する。

　　(3)「アタック」以降に新しい論点(New Argument)を提示してはならない。

　　(4)「立論」における証拠は、ポスター等を作成して分かりやすく提示すること。

　　「立論」以外の証拠は、必ずしもVisual Aidsを用意しなくてもよいが、Visual Aids 　　　の使用が効果的だと考えられる場合は、各校の判断で使用してもよい。

　　(5)通信機能の無い「時計」「ストップウォッチ」「電子辞書」以外の電子機器は使 　　　用不可。

　　 (6)スピーチの、語数は１分間に１４０〜１５０語程度として相手やジャッジが聞き

取れるように話すこと。また、アタック、ディフェンス、サマリーにおいても早

口にならないよう聞き手を十分に意識すること。

13　対戦形式 (Debate Format)： 　14　日　程： 8:30～ 8:50　受付

Affirmative Constructive Speech (肯定側立論) 4 min. 　　 8:50～ 9:10　審査員会議、諸連絡

　Strategy Time (作戦タイム) 1 min. 9:10～ 9:30　開会式

Negative Cross-Examination (否定側尋問) 3 min. 9:45～12:15　予選

　Strategy Time (作戦タイム) 1 min. 12:15～13:15　昼食

Negative Constructive Speech (否定側立論) 4 min. 13:25～16:10　決勝ﾄｰﾅﾒﾝﾄ

　Strategy Time (作戦タイム) 1 min. 16:10～16:30　休憩・審査会議

Affirmative Cross-Examination (肯定側尋問) 3 min. 16:30～16:50　閉会式

　Strategy Time (作戦タイム) 2 min.

スピーチの速さと伝わりやすさについて

　聞き手を意識したスピーチのご指導をお願いします。以下の点についてご留意ください。

　　スピーチをする際には，聞き取りやすいように行う。十分な声量で，抑揚にも気をつけ，適度に緩急をつけるようにすること。スピーチの速さは，平均して1分あたり150語程度までとし，立論は最大でも600語までとすること。ディベーターは，相手やジャッジのジェスチャーや表情などをよく観察し，スピーチが本当に伝わっているかを確かめながらスピーチすること。

Negative Attack Speech (否定側ｱﾀｯｸ) 　 2.5 min.

Affirmative Attack Speech (肯定側ｱﾀｯｸ) 　 2.5 min.

　Strategy Time (作戦タイム) 　 2 min.

Affirmative Defense Speech (肯定側ﾃﾞｨﾌｪﾝｽ) 2 min.

Negative Defense Speech (否定側ﾃﾞｨﾌｪﾝｽ)　 2 min.

　Preparation Time (準備タイム) 　 2 min.

Affirmative Summary Speech (肯定側総括) 2.5 min.

Negative Summary Speech (否定側総括) 2.5 min.

total 37 min.

15　参加申込み：

(1)方　法　①高英研のホームページから「県ディベート大会参加登録用紙」をダウンロードし、

　　必要事項を入力の上、下記の事務局E-mailアドレスにメールで提出する。

　　②郵送により「大会出場申込書(※要校長印)」を提出する。

(2)申込先 県立姫路飾西高校　兵庫県高校生英語ディベートコンテスト事務局 竹谷　彰浩

　　〒671-2216 兵庫県姫路市飾西１４８－２

　　TEL: (079)266-5355 FAX: (079)266-5354 E-mail: a\_taketani@hyogo-c.ed.jp

(3)締　切　①「県ディベート大会参加登録用紙」：**１０月２８日（金）**までにメールで提出。

　　※登録生徒については１２月１６日（金）まで変更可能であるが、変更済みの登録 　　　用紙を速やかに事務局へ提出してください。

　　②「大会出場申込書(要校長印)」」１２月２０日（火）までに郵送で提出。【必着】

　16　その他：

(1)審査員講習会(ジャッジセミナー)について

　　日時：１２月６日（火）１４：００～１６：３０（予定）

　　場所：甲南大学

　　※厳正な審査を行うため、帯同審判の方は原則として参加してください。

(2)第17回全国高校生英語ディベート大会 （オンライン開催）への参加を希望する学校　　は、高英研ホームページより「第17回全国高校生英語ディベート大会兵庫県予選会　実施要項」をダウンロードし、９月１日（木）～９月２２日（木）の間に、全国大会担当者までeメールで申込みをして下さい。　　 県立尼崎小田高校　二森　正人　nimo@hyogo-c.ed.jp

(3)県高英研ホームページ掲載、大会DVD作製等に係る生徒の肖像権等は主催者に帰属する。